

伝統の和傘をモダンなランプシェードへ (株式会社 日吉屋)

① 会社概要 (平成24年10月現在)

- 所在地: 京都府京都市上京区寺之内通堀川東入ル 百々町546
- 代表者: 西堀 耕太郎
- 資本金: 1,000万円
- 売上高: 6,000万円
- 従業員数: 7名
- URL: <http://www.wagasa.com>

② 事業概要

＜和傘の技術を活かした照明器具製造・販売＞

京都市の伝統産業である「京和傘」の現在残っている唯一の製造元。「伝統は革新の連続である」を企業理念に掲げ、伝統的和傘の継承のみならず、和傘の技術、構造を活かした新商品を積極的に開拓するグローバル・老舗ベンチャー企業。

百数十年継承してきた京和傘の製造技術・意匠・構造を活かしながら、デザイナーの近代的なデザインを加え、実用的なスタイルに変化させた新たな照明器具・ランプシェードを開発し、新分野に参入し、「グッドデザイン賞」、ドイツの国際的なデザイン賞「iFプロダクトデザインアワード ドイツデザイン賞」などを受賞。インテリア・建築業界を主たるターゲットとして国内外への新たな販路を開拓している。

③ 海外展開概要

＜欧州等への販路開拓＞

デザイン・インテリア市場におけるインテリアのトレンド発信地であるヨーロッパを中心に展示会へ出展。平成18年照明デザイナーと共同開発した和風照明「古都里」を海外をターゲットとし展開するため、京都商工会議所の「KYOTO PREMIUM」として、パリ「メゾン・エ・オブジェ」に出展。ニューヨーク「ICFF」(国際現代家具見本市)、ドイツ「LIGHT+BUILDING」(国際照明・建築技術専門見本市)、イタリア「ミラノ・サローネ」等に続いて出展し、人的なネットワークを構築することにより、代理店契約に繋げている。現在、ヨーロッパを中心に15カ国・地域で、総代理店契約を締結。展示会では、メディア向けのプレスキットやパンフレットなど、高価格商品に見合う内容・体裁の広報ツールを用意し商品をPR。

④ 取組の重点 (活用した支援策を含む)

「地域資源活用新事業展開支援事業」・「JAPANブランド戦略展開支援事業」により、「京和傘」の構造等を活かした、内外で通用する照明器具(ランプシェード)を開発。「JAPANブランド育成支援事業」「JETROアジアキャラバン」等を活用し、海外展示会へ出展。JETRO「輸出有望案件発掘支援事業」により、専門家やアドバイザーによる人的サポートを利用。

近畿経済産業局、ジェトロ大阪本部など、公的支援機関の施策を十分に活用し、海外を見据えた新商品開発、販路開拓に取り組んでいる。

デザイン性に優れた商品として、付加価値を上げることにより、海外にも通用する商品開発をしていくことが、成功の秘訣。そのためには、人的ネットワークの構築が重要である。

⑤ 今後の事業展開について

同社は、主となる販売ターゲットを大型商業施設に定めており、施設に合わせたデザインを特注されることも珍しくない。今後は、ユーザーの要望に綿密に応えるため、現地の各販売代理店との更なる関係強化を目指す。販売ネットワークの拡大に取り組む一方で、和傘の構造を利用した新商品の開発も進める。

また、これまでの経験を活かし、海外展開に挑戦する中小企業に対するアドバイスをを行うため、平成24年4月にT.C.I.研究所を設立。海外に通用する新製品を市場に投入するための新たな取組を進めている。



MOTO



古都里 (平成24年10月現在)

データ出所: 近畿経済産業局